

フットサルの歴史

2024年6月24日

フットサル同好会

小笹 正也

今回はフットサルの歴史について話をしてみたいと思います。







フットサルの起源

もともと、フットサルはサッカーを表す「Fut」と、室内を意味する「Sal」を合わせた言葉が語源です。スペイン語とポルトガル語がもとになっているといわれています。

フットサルの起源には、二つの大きな流れがあるといわれています。片方の流れはブラジル南米を中心に弾まないボールを使って発展した「サロンフットボール」です。そして、もう一方の流れは、サッカー発祥の地イギリスから始まって、ヨーロッパ、北米などへ広まった「インドアサッカー」です。インドアサッカーのほうは、室内でプレーし、壁の跳ね返りを利用したスカッシュやアイスホッケーのような要素をもったゲームです。

世界のフットサル

フットサルは、世界各地でいろいろな呼び方をされていました。サロンフットボールとか、インドアサッカー、フィールド・サッカーなどとも呼ばれています。

-  オランダ・・・「ザール」
-  デンマーク・・・「ハル・フォドボルト」
-  スペイン・・・「フットボール・サラ」
-  イタリア・・・「カルチェット」
-  ドイツ・・・「ハーレン・フッスボール」
-  ブラジル・・・「フチボ・ジ・サラーン」



日本でも有名なジーコも
フットサル出身。

これらの国のフットサルは、日本で想像できないほど盛んです。

(アルシンド懐かしい…)

たとえば、サッカー大国スペインでは、サッカー人口よりも、フットサル人口の方が多いいわれられていて、その数は100万人とも言われています。オランダやドイツでは、フットサルのプロリーグがあります。驚いたことに、サッカー後進国アメリカでも、インドアサッカーはプロ化されています。「アメリカ

ン・インドア・サッカー」(MISL=メジャー・インドア・サッカー・リーグ)は、すでに10年を超える歴史を持っていて、人気のあるスポーツの一つです。

アジアでは、日本はフットサルの後進国とっていいかもしれません。イランがもっとも強く、ウズベキスタン(プロリーグがあります!)、タイといった国が、フットサルでは日本よりも進んでいます。

フットサル統一ルールの制定

フットサルは、このように世界中で長い間行われてきた比較的古い歴史を持つ競技です。世界中でルールが違いましたが、これをFIFAが統一しようと動き始めます。

まず、1988年に、国際サッカー連盟(FIFA)が、世界各国で競技されていたサロンフットボールなど原始フットサルを統一し、5人制サッカー(室内サッカー)の競技規則を定めました。

つづいて、1994年に名称を「5人制サッカー」から「フットサル」とし、よりフットサルの特長を生かすように競技規則が改正されました。

2000年には、大幅なルール改正が行われ、現在の公式大会はすべてこの2000年に制定されたルールに基づいて行われています。この改正は96年にスペインで開催された、第3回フットサル世界選手権の評価や経験を生かし、特にフットサルのスピードを生かす改正が随所に行われています。

今回は簡単にフットサルの歴史について触れてみました。

最後になりますが、フットサル同好会は月1回フットサルコートや体育館を借りて活動を行っています。

これまでは福山市松永町での活動がメインでしたが、コートの閉鎖に伴い、現在は福山市新浜町にあるエヴォルヴィンフットボールフィールドで活動を行っています。

興味のある方、最近運動する機会がなくて久しぶりに体を動かしたい方は連絡ください。一緒に汗を流しましょう!

